（毎週月曜日発行・定価50円）

お持ち帰りできます　配達承ります
会席料理　うなぎ　藤の家
2～150名様まで可。送迎有り。
イス席（一階）にて、お食事もできます。一配達も可一
草加市谷塚1-22-22〈谷塚駅より徒歩5分・旧4号沿〉☎922-2316・2336

読売新聞オンライン
毎月の新聞購読料金＋0円
紙面ビューアー機能で毎朝5時に更新
紙面をそのまま表示
お申し込み・お問い合わせはお近くの
読売新聞販売店まで

読者と共に歩む
東武よみうり
週刊
THE TŌBU YOMIURI SHIMBUN 第2285号
2025年（令和7年）1月13日（月）
発行所
東武よみうり新聞社
〒343－0843
埼玉県越谷市蒲生茜町3－9
電話　(048)987－0611
Fax　(048)987－0614

広告のことならお任せ下さい
読者と共に歩む
東武よみうり新聞社
越谷市蒲生茜町3-9
☎048(987)0611㈹
FAX(987)0614

好きが高じて写真家に

〝子どもの笑顔〟撮りたい

母からプロへ本格始動　高尾聡子さん

自宅にスタジオを開設したプロカメラマンの高尾さん

越谷の自宅でスタジオも

カメラ好きが高じて、プロのカメラマンとして本格的にスタートを切った女性が越谷市にいる。高尾聡子さん（45）。長年、広告デザイナーとしてカメラマンと仕事をするうちに憧れが強まり、3年前に意を決して会社を退職、美しい場所を背景に人物写真を撮るロケーションカメラマンになった。さらに昨年、自宅を改装してスタジオを作り、写真館を経営するまでに。撮りたいのは、みんなを幸せにする子どもの笑顔。「やりたかったことをやれるのは幸せ」と苦労を苦にせず、情熱を傾けている

高尾さんは14年間にわたり、広告会社でデザインの仕事を続けてきた。その中でカメラマンとの打ち合わせ、デザイン、レイアウトを手がけるうちに「写真はいいな」という思いが募ったのが、カメラマンを志す最初のきっかけだった。

結婚して出産したのを機に、子どもを被写体にカメラを持つようになり、その思いがさらに強くなった。そんな時、「やってみたいことをやったら」という夫の一言が背中を押してくれた。

2022年に退社して、ロケーションカメラマンになった。桜、コスモス、紅葉など季節折々の景色を背景に写真を撮る。場所を指定して希望者に来てもらって撮影をする仕事だ。

最初は、マルシェで1枚500円で子どもたちの写真を撮ってPRし、お客さんとのパイプを作った。初めは撮影ブースの設営方法が分からず苦戦したが、少しずつ顧客が増えて、今ではマルシェで予約を開始するとすぐに埋まるほどになった。「マルシェは集客があるから、そこでお客さまに知ってもらって接点を持ち、こんなことをやりますよとアクションを起こしていく」のが、高尾さん流の営業だ。

広告デザインの経験から「美」にはこだわりがあった。広告で読者の目線はどこにいくか、どうすればきれいに見えるか、これまで勉強してきた技術を今、吐き出している。写真に修正を加えるレタッチ技術もフルに使って納品する。丁寧な仕事で客がつき、今年は卒業式、入学式、七五三などのイベントで、忙しく動き回った。

昨年5月、自宅にスタジオを作り、雨でも撮影ができるようになった。スタジオ撮影は40分30カットで1万8000円と、料金を安く抑えている。その分、不在のアシスタントに代わってお客さんに協力してもらう。撮影用の花束の造花や飾り物がどんどん増えて置き場がなくなってきたが、それもうれしい悲鳴だ。

予約の入った撮影は穴を空けられない。だから、週末、夫に小1と小6の子どもを見てもらえ助かっている。それでも急に予約が入るなどして、仕事と家庭の境目がなくなる。「子どもが大きくなった時、『お母さんはいつもスマホを持っていた』と言われそう」と苦笑いだ。

今は、自分の生活目線に合わせて子どもたちを撮り続けたいと言う。「自分のイメージに近づくのは大変だけど、やりたかったことをやれているのは幸せ」と高尾さんは笑った。

＜問い合わせ＞ホームページhttps://ouchistudio-mashiro.studio.site/　メールtocophoto2022@gmail.com

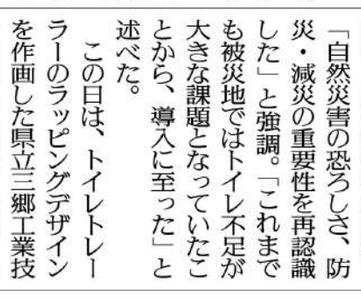
故障時の電源確保にEV

草加　エレベーターで稼働訓練

草加市瀬崎の「谷塚コリーナ」でこのほど、EV車を使用したエレベーターの稼働訓練が実施された。

定期的な全館停電保守作業日を利用し、電気系統設備が故障したと想定。レンタルした電気自動車を、駐車場棟屋上にある専用充電設備に接続し、通常は電力会社から電力が供給される回路をEV車から供給する回路に切り替えて、エレベーターを稼働させた。動かしたのは3台中1台のみだったが、EV車からの電源供給でエレベーターが稼働することを確認した。

訓練の中心となった非常用電源設備検討委員会のメンバーらは、「全館停電で暗い中、足元を照らすライトなどを使用しながらの訓練ではあったが、EV車の充電が8%程度でもエレベーターが10往復は可能だった」「緊急的な電源確保の手段になり得る」などと手応えを感じていた。


EV車によるエレベーター稼働訓練を行う非常用電源設備検討委員会のメンバー

今回の訓練は、2019年に猛威を振るった台風19号の影響で、神奈川県川崎市の武蔵小杉駅周辺のタワーマンション地下にある電気系統設備が浸水し、停電と断水が発生したのがきっかけ。特に高層階、高齢者の住人にとってエレベーターが使用できないのは大きな負担となった。

「谷塚コリーナ」は地上25階建てで、352世帯約700人が住んでいるが、そのうち高齢者が約4割を占める。電源の切り替え盤は3階の集会室に設置されている。

災害時に移動トイレ

三郷市が導入する個室トイレで、「けん引免許」を持つ市職員が運転に当たる。

内部には四つの水洗トイレが設置され、1200～1500回の連続使用が可能な大容量タンクを搭載。各個室に手洗い台、換気扇、殺菌灯などが備え付けられ、災害発生直後の断水時でも速やかに利用できる。

トイレトレーラーを導入した三郷市の木津市長（右）とラッピングデザインを作画した吉田さん

災害発生時などトイレが不足する事態に備えて、三郷市は水洗トイレを搭載した「トイレトレーラー」を1台導入し、12月26日に納車式を行った。

全長約4・2㍍、幅約2・4㍍、重量約2・5㌧。小型トラックなどでけん引平時には、市主催の屋外イベントなどで仮設トイレとしての活用も予定している。総費用は約2600万円。

式典で木津雅晟市長は、昨年1月の能登半島地震で「自然災害の恐ろしさ、防災・減災の重要性を再認識した」と強調。「これまでも被災地ではトイレ不足が大きな課題となっていたことから、導入に至った」と述べた。

この日は、トイレトレーラーのラッピングデザインを作画した県立三郷工業技術高校（高橋正行校長）の情報電子科3年生、吉田未来翔（みらと）さん（18）も出席。木津市長から感謝状と副賞が授与された。吉田さんは「あなたのそばにすぐ駆け付ける」をテーマに、車体側面には菜の花が咲くサイクリングロードを背にして走るJR武蔵野線に、同市マスコットキャラクターのかいちゃん&つぶちゃんが乗車し、いすの上で読書をしている様子を描いた。後部には市の花のさつきと、かいちゃん&つぶちゃんがデザインされている。

繁忙期と閑散期　特急　変動料金へ

東武鉄道

東武鉄道（本社・東京都墨田区、都筑豊社長）はこのほど、3月15日から特急料金に繁忙期・閑散期料金を導入すると発表した。

特急列車による快適な輸送サービスをより需要に即した形で提供していくため、乗車需要の異なる時期に応じた料金体系を導入するもの。

スペーシアXやスペーシアなどについて、春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、紅葉シーズン、年末年始などの繁忙期には200円増額、6月の月～木曜などの閑散期には200円（一部区間は150円）減額する。

ただし、浅草―久喜、浅草―南栗橋、下今市―東武日光、下今市―鬼怒川温泉間の「特定区間」や、スペーシアXのコックピットスイート料金、コンパートメント料金など「特別座席料金」には適用しない。また、伊勢崎線特急列車には閑散期料金を設定しない。

＜問い合わせ＞東武鉄道お客さまセンター☎03・5962・0102

今が旬、山東菜漬味わって

越谷・楽農三恵園

山東菜漬を作る楽農三恵園の従業員たち

越谷市増林の農地所有適格法人・楽農三恵園（吉田忠茂社長）の畑で、特産のサントウサイの収穫が終わり、サントウサイの漬物「山東菜漬」を販売している。

サントウサイは非結球白菜の一種で、1875年に中国・山東省から入ってきたとされる。肉厚で水分が多く、漬物は同市の「こしがや愛されグルメ」に認定されている。越谷周辺の特産だが、生産農家が激減し、漬物を扱う店も減ってきたため、市外から同園を訪れる客も多い。

同園では11月下旬から収穫作業を始め、切り分け、洗い、2度の漬け込みを経て、12月中旬から漬物の販売を開始した。

値段は昨年同様、樽3㌔・㌘5760円。100㌘180円の小分けからあるので買い求めやすい。オリジナルレシピで作ったキムチのカクテキ500円、カットキムチ600円も人気だ。

草加市の池田喬さん（79）は「毎年買いに来る。寒いとよく漬かっていておいしい」と話していた。

吉田社長は「今年のサントウサイはサイズも大きく、昨年以上によく育ってくれた。寒くなってきたので甘さも増している。年に1度しか味わえない無添加の山東菜をご賞味ください」と話していた。

購入は同園で直接か、ホームページから申し込みで配送も可能。電話予約も受け付けている。

＜問い合わせ＞楽農三恵園（越谷市増森2600）☎960・6288（午前10時～午後4時）

松原手帳

甚大な被害をもたらした能登半島地震から1年がたった。折しも今週金曜日には阪神淡路大震災から30年の節目を迎える。この機に、災害への備えをもう一度点検してみたい◆最大の被害を受けた石川県内で、避難所に段ボールベッドの導入が始まったのは、地震発生10日目のことだった。避難者は厳冬の体育館で震え、眠ることも容易でなかった。自治体に備蓄があっても、道路の寸断などで運べないことは十分ありうる。特に冬は暖かい服を持参する必要がある◆家が被害を免れ避難する必要がなくても、物資を手に入れられるようになるまで相当の時間がかかる。断水も長引く恐れがある。最低でも3日間、家族全員がしのげる水と食料の備蓄は必須だ◆能登半島地震ではさまざまな問題が浮き彫りとなったが、その一つがトイレ対策だった。自治体によっては携帯トイレを住民に無料配布し始めたところもある。ぜひ自宅に用意しておきたい◆女性の生理用品や赤ちゃんのミルクの不足も問題となった。非常持ち出し袋に入れておきたい。また、持病のある人はいつも飲んでいる薬の名前を控えておくとよい。一番来てほしくない時に来るのが災害である。せめて自分でできる備えは万全を期しておきたい。

システム開発・パソコン・複合機・電話工事
監視・防犯カメラ工事・金庫・オフィス家具
先進のICT情報をお届けすること、それは私たちの使命です。
信頼されるサービスと先進的商品開発への熱き情熱。
マルチメディア時代の技術革新の波をいち早くキャッチする《情報発信基地》として、クオリティーの高いサービスを提供し、最も効率良いシステムを提案する「最先端ICT大陸」、それがビジネスランドの姿なのです。
旧日光街道（足立越谷線）新田駅入口
ビジネスランド
048-935-0200

次回発行は1月20日

東武よみうりは読売新聞の購読者に無料でお届けします

東武よみうりホームページ「とーよみｎｅｔ」https://www.tobuyomiuri.co.jp/
東武よみうりX（旧ツイッター）https://mobile.twitter.com/tobu_yomiuri

創業250余年
越谷雛の元祖
特選ひな人形大展示会
NHK総合テレビ1チャンネル『おはよう日本』にて発表し、大好評を得た、従来の飾りを一新した『仙峯作』オリジナル親王飾りセットを本年は店内に多数展示いたしました。是非ご来店の上ご覧くださいませ。
【現金特価　ご奉仕中】
初代樹木斉仙峯倉田佐右衛門の創業以来皆々様方の御愛顧により250余年を迎える事ができました。これもひとえに越谷びな愛好者の賜と感謝申し上げます。これからも宜しくお願い申上げます。
江戸時代より老舗、越谷びな元祖
植木屋人形店
越谷市越ヶ谷2丁目7番3号　☎048(962)1783・048(962)2802
instagram@uekiya_ningyoten　Facebook https://www.facebook.com/uekiyaningyoten
←至浅草　越谷駅　至春日部→
東武スカイツリーライン
埼玉りそな銀行
←至草加　KIMONO京扇　旧4号
植木屋人形店
←至吉川
越谷市役所